学校番号	３１５

令和２年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「現代の日本史　改訂版　」　（山川出版社）						
副教材等	「最新日本史図表」　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①　歴史という時間軸を大観する。
②　歴史的事象に疑問を持ち、背景を思考する。
③　歴史を背景とした日本の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。

２　学習の到達目標

①　諸資料に親しみ、歴史的思考力を養う。
②　現代の諸課題を、歴史と結びつけ歴史的観点から考察することができる。
③　日本の歴史を地理的条件と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きるに日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	わが国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連づけて多角的・多面的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	わが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	わが国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 発言	定期考査 ワークシート 発言	定期考査 ワークシート 発言	定期考査 小テスト 発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	開国と維新	・明治維新の背景 ・西洋への開国 ・政治秩序の崩壊 ・王政復古と急進的革命 ・新たな対外関係の樹立と内乱の終結	○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a 近代に至るまでの日本の歴史を踏まえながら、明治時代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b 近代に至るまでの日本の歴史を踏まえながら、明治時代の展開から課題を見出し、東アジア情勢と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 近代に至るまでの日本の歴史を踏まえながら、明治時代の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 近代に至るまでの日本の歴史を踏まえながら、明治時代の展開についての基本的な事柄を、東アジア情勢と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 小テスト

	近代国家の形成と発展・産業化の推進と国民生活	・立憲政治をめざして ・憲法の制定と議会の開設 ・東アジアの国際環境と条約改正問題 ・清国との戦い ・藩閥・政党の対立と協力 ・ロシアとの戦い ・日露戦後の国際関係と日本 ・産業革命の進展 ・資本主義の確立とその特色 ・社会問題の発生 ・国民文化の形成	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a 立憲政体の成立から日清・日露戦争の経過と結果に基づく、資本主義の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b 立憲政体の成立から日清・日露戦争の経過と結果に基づく、資本主義の展開から課題を見出し、ヨーロッパも含め国際情勢と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 立憲政体の成立から日清・日露戦争の経過と結果に基づく、資本主義の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 立憲政体の成立から日清・日露戦争の経過と結果に基づく、資本主義の展開についての基本的な事柄を、ヨーロッパも含め国際情勢勢と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 小テスト

2学期	第一次世界大戦と大正デモクラシー	・第一次世界大戦と日本の外交 ・デモクラシーの高まりと政党 ・国際協調と軍縮の進展 ・政党政治の時代 ・大戦中からの戦後の経済と社会 ・都市化と大衆文化	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a 第一次世界大戦・戦間期・の経過と日本帝国主義の発展に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b 第一次世界大戦・戦間期・の経過と日本帝国主義の発展から課題を見出し、国際情勢と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 第一次世界大戦・戦間期・の経過と日本帝国主義の発展に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 第一次世界大戦・戦間期・の経過と日本帝国主義の発展についての基本的な事柄を、国際情勢勢と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 小テスト

	第二次世界大戦と日本・占領下の日本	・昭和恐慌 ・協調外交のゆきづまり ・満州事変から国際的孤立へ ・軍部の政治的台頭 ・中国との戦い ・第二次世界大戦と世界新秩序 ・太平洋戦争 ・日本の敗北 ・占領政策展開 ・戦後の民主主義の定着 ・世事・経済の再建 ・独立の回復	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a 金融恐慌から敗戦までの経過に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b 金融恐慌から敗戦までの経過から課題を見出し、国際情勢と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 金融恐慌から敗戦までの経過に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 金融恐慌から敗戦までの経過についての基本的な事柄を、国際情勢勢と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 小テスト
3学期	日本の自立と経済成長・現代の世界と日本	・55 年体制の成立 ・安保体制下の日本 ・高度成長の光と影 ・激動する世界 ・国内政治の再編成 ・アジア・太平洋地域と日本 ・21 世紀の課題	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a 戦後改革と高度経済成長から現代の日本社会に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b 戦後改革と高度経済成長から現代の日本社会の中から課題を見出し、国際情勢と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 戦後改革と高度経済成長から現代の日本社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 戦後改革と高度経済成長から現代の日本社会についての基本的な事柄を、国際情勢勢と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発言 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。